

つながる地域づくり(つなまち)通信

生活支援コーディネーター通信

発行: 豊島区民社会福祉協議会 地域相談支援課

〒170-0013 豊島区東池袋 1-39-2 豊島区役所東池袋分庁舎 3階

電話 03-3981-4392 E-Mail csw_seikatsu@a.toshima.ne.jp

地区懇談会（地域ケア推進会議）に参加しました

高齢者総合相談センターが主催し、8つの圏域ごとに、身近な地域で話したいこと、考えたいことなどの情報共有・交換・つながりづくり等をおこなっています。また、食や医療、つながりなどのマップ作りに地域で取り組んだところもあります。

いけよんの郷 高齢者総合相談センター

令和元年7月23日(火)

テーマ：高齢者の住宅の衛生環境について考える

池袋保健所の矢口氏から、都市部で起きているねずみ・害虫被害のお話をお聞きした。

- ・都内ケアマネアンケートで、7割以上が利用者宅のネズミ被害を経験
- ・独居等の高齢者宅で、クマネズミ（賢い・特定の成分の薬しか効かない）に足を噛まれる被害が報告されている。スーパートコジラミ（南京虫）の被害が増えている。殺虫剤は特定の成分のものしか効かない。家の清潔・不潔は関係ない

【意見交換では】

- ・部屋の片づけはまず共感し、本人が安心してから。
- ・民生委員が医師と協力し支援したケースがある

ねずみ・ダニ被害の状況が昔と違っていることに皆さん驚きでした！実際、包括から保健所に被害の相談をし、無事駆除できたそうです

西部 高齢者総合相談センター

令和元年7月25日(木)

テーマ：高齢者の自立支援について地域の理解を深める

高田介護予防センター長の相澤氏から、フレイル予防の話をお聞きし、としまる体操を実際に体験

★としまる体操を広めるには？

- 介護予防センターから出張相談を受けられる
- 助成金制度あり（3万円/年 3人以上・年10回以上実施など条件あり。高齢者福祉課）

【意見交換では】

- ・（地域住民より）どこでとしまる体操をやっているのかわからない
- 今後、包括・CSWの窓口でとしまる体操グループやサロン等の情報がわかる「地域情報データベースシステム AyamU」の運用が始まる（生活支援 Co より）



としまる体操。やってみると、からだの隅々まで使うのがわかります

テーマ：みんなが集まりつながりがある地域社会の実現に向けて～防災について考えよう～

防災危機管理課の北村氏から避難所や防災用品に関する話をお聞きした後、「防災クイズ」に挑戦

・手に入りやすい食料などもそうだが、個人に必要な「薬」「眼鏡」などを用意しておく。薬がないことで体調が悪化したケースも多い。

・自助：共助：公助の割合は7：2：1 というデータもある。共助のためには、防災訓練への参加や日頃の近所づきあい（「絆」づくり）が大切

【意見交換では】

・町会、民生委員、ケアマネさん、CSWなど参加者それぞれから、災害時に支援が必要な方に何ができるか、必要なか話し合っていければという意見が出、思いが共有されました。

防災クイズは意外と知らないことが多いことがわかり、ためになった！



生活支援コーディネーターは、地域の「ささえあいの仕組み」づくりが仕事です。どうすればその仕組みができるのか、これまで4年間、「地域のささえあいの仕組みづくり協議会」（以下協議会）の皆さんとともに話し合ってきました。

また、年に数回地区ごとに開催される高齢者総合相談センター主催の「地区懇談会」、豊島区民社会福祉協議会が地区ごとに行う「区民ミーティング」、そのほか区内各地域で行われ

ているネットワーク会議などにも参加し、地域住民の声をおききしています。

これまで協議会では「街にベンチがあれば高齢者も買い物等に出かけやすい」「誰か座っていることで子どもの見守り効果がある」など何度も話し合ってきました。

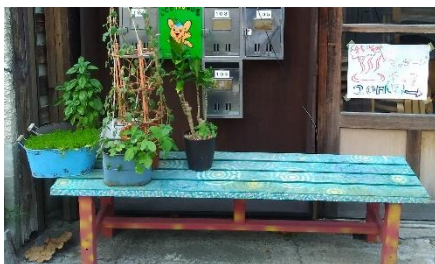
そこで、つな^{まち}地域通信では「地域のおもしろいベンチ」「助かるベンチ」などベンチ情報を募集します。掲載させていただきたいと思しますので情報をお寄せください。



まち地域で見かけた



1号



くすのき荘前

豊島区上池袋4丁目

明治通りと宮中公園通り（元癌研通り）の交差点を、北池袋駅方面に向かうゆるい坂の途中にあります。

子どもたちが座ったり、お買い物途中の高齢者の休憩場所として大活躍。常連さんもいるとか。

くすのき荘は芸術家の活動拠点・地域の拠点で、さまざまなイベントなどを実施しています。

ベンチ情報を募集中

「地域のおもしろいベンチ」や「助かるベンチ」などベンチ情報を募集します。紙面1面の連絡先にお知らせください！